

**2012年6月改訂 (第5版)

*2009年6月改訂

貯法

保存条件 室温保存

容器 気密容器

使用期限 箱に記載

日本標準商品分類番号
873211

承認番号 20300AMZ01013000
**薬価収載 2012年6月
販売開始 2006年1月
再評価結果 1986年12月

カルシウム剤
日本薬局方

乳酸カルシウム水和物

**〈乳酸カルシウム「NikP」〉
CALCIUM LACTATE HYDRATE

【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者 [症状を悪化させることがある。]
2. 腎結石のある患者 [症状を悪化させることがある。]
3. 重篤な腎不全のある患者 [腎不全を悪化させることがある。]

【組成・性状】

1. 組成

1g中 日本薬局方 乳酸カルシウム水和物 1g含有。

2. 製剤の性状

本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

【効能・効果】

1. 低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
テタニー
2. 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
妊婦・産婦の骨軟化症
3. 発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2～5回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者 [高カルシウム血症があらわれやすい。]
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者 [強心配糖体の作用を増強するおそれがある。]
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 ジゴキシン ジギトキシン	ジギタリス中毒(不整脈, ショック)があらわれることがある。定期的にジギタリス中毒の有無、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、ジギタリス製剤の減量若しくは中止する。	ジギタリス製剤の作用を増強する。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 テトラサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質の作用が減弱するおそれがある。同時服用を避け、併用する場合には、1～3時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりテトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害する。
ニューキノロン系抗菌剤 塩酸シプロフロキサシン ノルフロキサシン トスフロキサシン トシル酸塩水和物	ニューキノロン系抗菌剤の作用が減弱するおそれがある。同時服用を避け、併用する場合には、2時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりニューキノロン系抗菌剤の吸収を阻害し、血中濃度を低下させる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

次のような副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症, 結石症
消化器	便秘

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: 乳酸カルシウム水和物 (Calcium Lactate Hydrate)

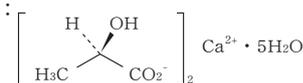
化学名: Monocalcium bis(2RS)-2-hydroxypropanoate] pentahydrate

分子式: C₆H₁₀CaO₆ · 5H₂O

分子量: 308.29

性状: 1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

構造式:



及び鏡像異性体

【包装】

粉末: 500g

細粒: 500g

*【問い合わせ先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21
☎(0120)517-215 Fax (076)442-8948

製造販売元
** 日医工株式会社
NICHIKO 富山市総曲輪1丁目6番21